



ADRC Highlights

Vol.29

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

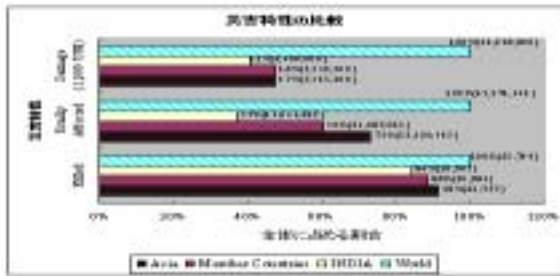
August 1, 2001

➤ 2001年上半期の災害

2001年上半期災害被害ワースト10 (疫病を除く)

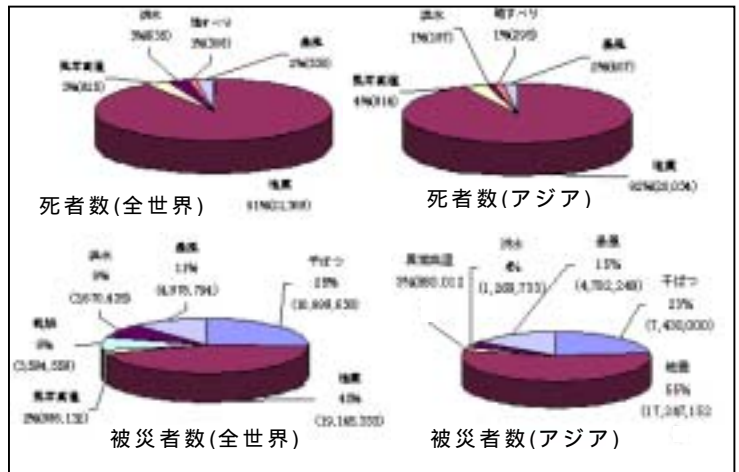
順位	死者数 (人)				被災者数 (人)				被害総額 (1,000 US\$)			
	国	災害種類	日付	死者数	国	災害種類	日付	被災者数	国	災害種類	日付	被害額
1	India	Earthquake	Jan. 26th	20,005	India	Earthquake	Jan. 26th	16,066,812	India	Earthquake	Jan. 26th	4,600,000
2	El Salvador	Earthquake	Jan. 13th	844	Afghanistan	Drought	May	3,800,000	United States	Earthquake	Feb. 28th	2,000,000
3	Afghanistan	Extreme temp	January	500	Niger	Famine	April	3,584,558	El Salvador	Earthquake	Feb. 13th	1,500,000
4	El Salvador	Earthquake	Feb. 13th	315	China, P Rep	Wind storm	June 23rd	3,108,000	El Salvador	Earthquake	Jan. 13th	1,300,000
5	Peru	Earthquake	June 23rd	168	China, P Rep	Drought	March	3,000,000	United States	Wind storm	June 8th	1,000,000
6	Afghanistan	Extreme temp	January	150	China, P Rep	Wind storm	Jan. 1st	1,640,800	China, P Rep	Wind storm	June 23rd	473,000
7	India	Extreme temp	January	125	El Salvador	Earthquake	Jan. 13th	1,334,529	Korea, Rep	Wind storm	Jan. 8th	149,000
8	China, P Rep	Wind storm	June 23rd	125	Pakistan	Earthquake	Jan. 26th	914,292	China, P Rep	Flood	June 9th	47,000
9	Indonesia	Slide	Feb. 11th	122	Sudan	Drought	January	900,000	China, P Rep	Earthquake	May 24th	36,000
10	Thailand	Flood	May 4th	83	Zambia	Drought	March	830,630	Peru	Earthquake	June 23rd	28,500

出典: EM-DAT: The OFDA/CRED International Disaster Database-www.md.ucl.ac.be/cred - Universite Catholique de Louvain - Brussels - Belgium.



2001年上半期の災害の特徴は、90%以上の人々が地震によって亡くなっていることです。特に、世界の災害による死者数の82%、アジア地域の92%は、1月26日にインドグジャラート州で起こった地震によるもので、死者、被災者数の上で上半期最大の災害となっています。一方で、この地震の被害額は、世界の災害被害額の41%となっています。

また、ワースト10の災害のうち半分がアジア防災センターのメンバー国で発生しており、当地域の自然災害への脆弱性が現れています。



(主任研究員 吉村文章)

➤ 2001地震火山・世界子どもサミット

このサミットは、日本地震学会の主催で毎年開催され、国内外の火山や地震の被害を受けやすい地域の子ども達を集め、自然災害について学ぶことを目的としています。本年のサミットは、7月20日から22日にかけて伊豆大島にて250名の子ども達の参加を得て開催されました。3日間の日程は、フィールド・トリップや討論会など盛りだくさんの活動内容でした。フィールド・トリップでは、講義の内容を実際によりよく理解する手助けとなり、子ども達はより具体的ではっきりした質問に答えられるようになりました。

プログラム全体は、火山や地震学の専門家が講義をし、小学生から大学生までのさまざまなレベルの生徒が課題を与えられるという、教育的で挑戦的なものでした。異なったレベルの生徒が一チームとして共に協力し、与えられた課題を成し遂げるために努力しました。

サミットにオブザーバーとして参加して気づいたのは、チームワークの大切さと、子ども達が協力し参加したことがサミットを成功に導いたことです。個人的には、火山に関する知識や、明快な災害軽減のための方法を学びたいと考えていた私にとって、非常に勉強になり、役立つ経験となりました。また、私の国においてトレーニング・プログラムを作成するための有用なアイデアを持つことができました。

(ADRC 客員研究員 フィロメナ・ミリア)

➤ 自然災害分野における地域協力会議

2001年7月4日から6日にかけてネパールのカトマンズで自然災害分野地域協力会議が開催されました。ADRC と UNOCHA の共催で ADB, ADPC, ICIMOD, OFDA-USAID, UNDP-Nepal, UN-OCHA, WFP, WHO などの自然災害分野で活動中の機関が参加しました。

会議の目的は、(1)自然災害分野における地域協力を強化していくこと(2)自然災害に関する計画や経験を共有していくため、地域機関や国際機関の地域事務所に対して討論の機会を提供すること(3)地域協力におけるビジョンを共有していくことです。

各機関による活動紹介のプレゼンテーションの後、参加者はグループごとに、現在の地域協力状況、地域協力の制約・障害、地域協力のための必要事項などに関して活発な議論を行いました。会議の閉幕にあたり、どこで、どの機関が、どのような活動を行っているかというデータベースを作成していくことや、災害関係の主なイベントのカレンダーを作成しインターネット上で公開していくことなどを盛り込んだ共同声明が採択されました。これらの実施にあたっては、ADRC は他の参加者と協力し、主導的役割を果たしていくことになりました。また、このような非公式な地域会議は非常に有意義であるとの参加者全員の認識から、来年以降も引き続き開催されることになりました。

(研究員 中村晃子)

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 1HDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)